

1 事業概要

事務事業名 認知症高齢者在宅支援事業		課名	長寿支援課	事業No.	91	
		会計	一般会計			
		事業区分	政策	実施区分	継続	
		開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画					
	分野別計画			高齢者福祉計画・介護保険事業計画		
	法令・例規等					
事業目的		対象	介護保険の支給限度額内では在宅生活を維持できない人			
		意図	在宅での介護を受けた生活を維持する			

2 事業内容

30年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	・介護保険外特別ホームヘルプサービスは、独居高齢者又は高齢者世帯の要介護者で、介護保険の支給限度額内では在宅生活が維持できない人に対し、限度額を超えてヘルパーを派遣する事業ですが、29、30年度の利用実績はありませんでした。 ・短期的入所特別拡大事業は、認知症独居高齢者、高齢者世帯の方で、冬期間在宅生活することが著しく困難であったり、要介護状態が著しく悪化するおそれがあり、かつ福祉施設等の利用ができない方に対し、冬期間の生活の場としてショートステイを確保しました。		介護保険外特別ホームヘルプサービス委託料				0	
			短期的入所特別拡大事業委託料				95	
			その他の経費				0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	
	短期的入所特別拡大事業利用者	人	2	1	2			
	短期的入所特別拡大事業利用日数	日間	2	5	6			
30年度 決算 (千円)	予算額	1,579	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	95	(そ) ふるさと寄附金					
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	50					
一般財源	45							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	1	4	14	2	1,286	0	認知症高齢者在宅支援事業費
2	1	3	1	4	14	3	293	95	短期入所特別拡大事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識		・短期的入所特別拡大事業では、冬期間に在宅での生活が困難な方の支援のために引き続きショートステイを確保する必要があります。冬期間は施設入所の需要も高まるため、これ以上の確保は難しい状況です。							
上記の課題解決のための有効策		・ケアマネージャーと冬期間の在宅生活困難者の情報を共有し、支援が必要な方への利用に繋がります。							
次年度に向けての取り組み		・引き続きショートステイを確保するとともに、適切な運用を行います。							